

謹賀新年



発行所 〒985-1810 塩竈市一森山一番一号

志波彦神社 社務所

電話 〇二二-三六七-一六一(代)

FAX 〇二二-三六五-五五三〇

<http://www.shiogamajinja.jp/>



今回の大麻頒布は、コロナ禍での感染防止対策など、例年とは異なりその分違う感慨もあった。大麻を受けた高齢の方が「どこへも出かけられなくてね」と一言。コロナの辛抱などどれほどのものか、そんな気骨を感じたのだった。祖国敗戦の国難時代を生き抜いてきた気骨ある人が「ああ あ顔であの声で」との台詞に感応し、ぼろぼろと涙を流す場面が記憶にある。当時は、それが何故なのか分からなかったが、朝の連続テレビ小説「エール」に思わず膝を打った。そうか、「暁に祈る」の一節「ああ あ顔で あの声で 手柄頼むと 妻や子がちぎれる程に 振った旗 遠い雲間に また浮かぶ」が胸中に流れていたのだ。このドラマの主人公は作曲家古関裕而。予科練の「若鷺の歌」や「ビルマ派遣軍の歌」など多くの作品によって日本人を励まし続けた様子が描かれるが、戦後の場面では一転、戦争協力への贖罪意識に苦しむ主人公が強調され、お決まりの戦争否定一辺倒となるかと危惧した。しかし、「長崎の鐘」を作曲する場面となり、自らも被爆しながら救護活動に当たり随筆「長崎の鐘」を書いた永井隆医学博士と面談、個人的な贖罪でなく苦しみ悲しみから立ち上がるようにする日本人にエールを送つてとの言葉によって主人公は曲を書き上げる。転調によって明るい未来を感じさせるメロディーは終戦直後の日本人の希望となった。我々も又、新年を機に調子を転じ、明るく活気に満ちた日本を取り戻してまいりましょう。



輝かしく一年を願ひ

志波彦神社 宮司 鍵 三夫

令和三年（皇紀二六八一）新春を寿ぎ、御皇室の弥栄と御国の安泰を御祈念申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大が終息する兆しが見えず、感染者は全国各地で増加の一途を辿っており、生活様式も様変わりした中、新年を迎えました。昨年四月の非常事態宣言の発令以降、神社では職員の分散勤

務や博物館の休館の措置を実施し感染予防に務めてまいりました。祭典につきましても規模の縮小や中止の措置を取らざるを得ない状態が続いています。そのような中、延期となった「立皇嗣の礼」が昨年十一月八日に挙行され、これを以て御代替わりにおける諸儀式が無事終了されたことは、誠に慶賀の至りとお慶び申し上げます。

至りとお慶び申し上げます。扱、本年の初詣につきましても、「密」の状態を避け、例年と異なり三ヶ日に拘らずに御参拝をお願い致したく存じます。神社と致しましては徹底した感染予防策を実施しております。皆様様の御協力も必要となります。マスクの着用・手指の消毒・一定の距離を保つなど改めて感染予防を

意識した行動をお願い申し上げます。本年の干支は「辛丑（かのとうし）」であります。「辛」はつらい・むごい・きびしい等の意があり、又、辛は新しいに通じ、「丑」は発芽直前の曲がった芽が種子の硬殻を破ろうとしている状態であることを表しています。今年も辛く、きびしい中でも、万物を一新し大きな希望が芽生える年といえます。氏子崇敬者各位にとりまして、輝かしい一年となりますことを祈念し、新春の辞と致します。



初春に寄せて

志波彦神社 総代 和 田 忠 祭典委員会委員長 和 田 工 事 株 取 締 役 会 長

令和三年、新春を寿ぎ謹んでご祝辞を申し上げます。ご皇室に於かれましては、昨年、一昨年と御代替わりの儀式が滞りなく取り行われ、心よりお慶び申し上げます。この一連の儀式の中、昨年十一月八日には、秋篠宮文仁親王殿下が皇嗣に選ばれたことを内外に広く宣明になりました。立皇嗣宣明の儀が執り行われ、国事

行為として行われた御代替わりの儀式が無事終了されました。重ねてお慶びを申し上げます。重ねてお慶びを申し上げる次第です。昨年、年初来より国の内外を問わず、新型コロナウイルスにより、未曾有の大混乱に陥り、社会、経済等に底知れぬ状況を呈し、まったく先行きの見えない世界的大恐慌に翻弄されております。この様な深刻な状況は、

私共の身近な生活環境にも大きな影響をもたらした。当地塩竈に歴史と伝統を誇る、氏子多寡のご齋行のあり方も、この立場を預かる祭典委員会としても、これ迄経験のない局面に立ち至り、世情は感染防止が声高に叫ばれ、あらゆる会合等の中止・自粛が大勢を占め、その対応に苦悩しつつも、祭典委員会は、三役会、幹事、常任委員の皆様の英知

を結集し、数次の対策会議を開き広く意見を徴し、結論としては、ご高承の通り、止む無く最少縮小案として、歴史と伝統を途絶えさせない形での大神輿境内地内ご巡幸を堅持することで総意を取りまとめ、神社様の御裁可を得て無事帆手祭り、花祭りの御祭事を行うことが出来ました。塩釜みなど祭りについては、塩釜みなど祭協賛会の意向もあり、残念ながら全面的に中止の形をとらせていただきました。事を改めてご報告申し上げます。今年こそは、前年を凌ぐ形での氏子三祭が実施できることを、心から祈念申し上げます。

謹みて新年のご祝詞を申し上げます

- | | | | |
|------------|-------------------------|---|--|
| 令和三年 辛丑 元旦 | 志波彦神社 鹽竈神社 代表役員 宮司 鍵 三夫 | 責任役員 阿部 勘九郎 佐浦 弘一 鈴木 雄一 渡部 邦彦 阿部 仁郎 野口 次郎 | 総代 菅野 仁一 佐藤 忠郎 和田 重信 志賀 直哉 桑原 健茂 鈴木 健史 鈴木 野大 水野 暢史 志賀 直哉 津田 武彦 菅原 宏和 勝又 雄司 下山 儀司 土井 儀憲 小泉 幸憲 阿部 善光 横田 善光 |
|------------|-------------------------|---|--|



年頭のご挨拶

塩釜警察署 署長 森 克夫

新年明けましておめでと
うございます。清々しい新年
を迎えられましたことと心
からお慶び申し上げます。

また、旧年中は、警察行
政の各般にわたり、格別
ご厚情を賜り、厚く御礼申
上げます。

私は、令和二年三月、塩
釜警察署の第九十三代署長
として着任いたしました。
着任間もない三月二十九日
に執り行われた志波彦神社

例祭に参列させていただき
ました。が、笙の賑やかな音色
と、巫女さんの優美な舞に
心を打たれるとともに、身
の引き締まる思いで、地域
の安寧をご祈願し、管内の
治安維持に積極的に取り組
んで行こうと決意を新たに
したものでした。

しかしながら、四月に入
ると、「コロナ禍」により、
多くの神事が縮小や中止を
せざるを得ない状況となり、

誠に残念でなりませんし
た。さて、昨年の治安情勢を
振り返りますと、「鹽竈さま
のご加護の下、地域の皆様
の御支援を賜り、犯罪及び
交通事故の発生を大幅に減
少させることができ、指数
治安は一定の改善が見られ
ました。しかし一方で、「振
り込め詐欺」を始めとする
特殊詐欺や子供・女性を対
象とした犯罪が後を絶たず、
体感治安を高めるまでには

至っていない現状にありま
す。警察署としましては、今
後も地域の更なる発展を支
え、安全で安心な地域社会
の実現に向け、署員一丸と
なり管内の治安維持に取り
組んで参りますので、本年
も変わらぬご理解とご協力
を賜りますようお願い申し
上げます。



新年のご挨拶

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会

会長 酒井 忠久

新年明けましておめでと
うございます。令和三年の
輝かしい新春をむかえられ
ましたことお慶び申し上げ
ます。そして切に新型コロナ
ナウイルス感染症の収束を
祈念します。鹽竈神社には、
仙台藩主をはじめ崇敬の
皆様から重要な文化財 太刀
銘 雲生・太刀 銘 銘 来国
光はじめ多くの刀剣が奉納

されています。仙台藩のお
抱え刀工がまとまった形で
残り、制作年・奉納年が明
らかなことは全国的に稀有
なことです。日本美術刀剣
保存協会は、踏鞴製鉄事業、
博物館事業、研修各種審査
事業などおこなない伝統の刀
剣文化の保護普及振興に務
めております。ご神宝とし
て数多くの名刀を大切に保

存されている鹽竈神社博物
館と当協会及び宮城県支部
が連携協力いたし数回刀剣
展を開催しました。また当
月刊会誌「刀剣美術」には
鹽竈神社博物館学芸員茂木
裕樹氏の「日本刀入門」イ
ラスト入りのわかりやすい
解説を転載連載中で愛読者
の皆様からご好評いただい
ております。このように鹽

敬神婦人講
副議長 宇佐良一美
講長 宇佐良一美
副議長 宇佐良一美

氏子崇敬会 会長 桑原大茂	副会長 佐藤明	水野暢	佐原良	安原文	菅原宏	引地利	菅原宏	安原文	佐藤明	水野暢	桑原大茂
祭典委員会 委員長 和藤善	副委員長 齋藤善	和藤善	齋藤善	和藤善	齋藤善	和藤善	齋藤善	和藤善	齋藤善	和藤善	齋藤善
敬神婦人講 講長 宇佐良一美	副議長 宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美	宇佐良一美
氏子青年会 会長 戸羽宏	副会長 沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏	沼倉宏
節分祭年男女世話人会 会長 佐藤武志	副会長 佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志	佐藤武志
鹽竈神社博物館審議委員会 審議委員 濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣	濱田直嗣

竈神社様から日頃ご協力ご
教導賜り厚くお礼申し上げ
ます。私は宮城県と縁深い
茶道裏千家の千玄室大宗匠
の鹽竈神社献茶式に列席い
たしたこともあり、また出
羽三山崇敬会研修旅行で出
羽三山宮野直生宮司と莊嚴
清新な鹽竈神社に参拝いた
しましたこと等、ありがた
いご縁を思います。結びに
大神様のご加護のもと皆様
の御健勝ご多幸と、陸奥國
一の宮鹽竈神社様の益々の
ご隆盛を祈念申し上げます。
新年のご挨拶いたします。

ご祈祷・お守の郵送について御案内

ご祈祷やお守は、御参拝
頂き直接お受けになるのが、
本来ですが、新型コロナウイルス
の感染が収まらず、
人の往来が制限される中、
郵送によるお申込みを受付
けております。
お手紙やファックスにて

お申込みいただけますが、
神社のホームページからも
お申し込み頂けます。
左記の要領で簡単にお申
込みが出来ますので、どう
ぞご利用下さい。

《トップページ「ご祈祷・お守」》

- ↓
 - お問い合わせ（お札・お守り）
 - 郵送ご祈願お申込み（個人）
 - 郵送ご祈祷お申込み（会社・団体）
- それぞれのページへ

《必要事項を入力》

- お守の場合
お問い合わせ欄にご希望のお守り、色（色違いがある場合）、数量
- 個人のご祈祷の場合
祈願名（家内安全、安産祈願、海上安全等）
祈願料（一件 5,000 円以上 安産祈願は 10,000 円以上）
- 会社・団体のご祈祷の場合
祈願名（社運隆昌、工事安全、商売繁盛等）
祈願料（一件 10,000 円以上、二つお選びの場合は 20,000 円以上）
それぞれお名前、送付先住所、電話番号、メールアドレス等
ご入力済みでしたら、確認ボタンを押してください

《確認画面へ》

《送信》

* 神社より確認のご連絡をいたします

↓

初穂料は現金書留または、ゆうちょ銀行へお振込み下さい
ご入金確認後、お守り・神札をお送り致します
送料につきましては、それぞれのフォームよりご確認下さい

授与品の御案内



うまくいく守

今年の干支「丑」の飾
金具付の今年一年限定で
す。

初穂料 一、〇〇〇円



知恵袋

成功へのお導き守で
す。万事成功に導かれま
すように。

初穂料 一、〇〇〇円



縁起物 千支土鈴

初穂料 一、五〇〇円



身体健康まり守

様式を新たに奉製致し
ました。
初穂料 一、〇〇〇円

第七十三回 奉獻乾海苔品評会

審査会
一月六日(水)
午前十時

宮城県漁業協同組合
塩釜総合支所

感謝祭

一月十一日(月)
午前十一時
鹽竈神社左右宮

本年も当社を会場に「鹽竈神社奉獻乾海苔品評会」が開催されます。

審査会は例年、神社齋館で実施しておりますが、新型コロナウイルス感染症防止の為、会場を宮城県漁業協



同組合塩釜総合支所に移し、一月六日(水)午前十時に実施します。

十帖一束約三二〇g以上の乾海苔を一点として色・艶・手触りなど審査員の厳正な審査を経て、優賞・準優賞以下受賞者を決定します。



十一月(月)午前十一時から関係者参列のもと奉獻感謝祭が斎行されます。

当日は、出品された乾海苔を祭務所に展示いたします。御参拝の際には、宮城県産の日本有数の上質な乾海苔を豊かな香りとともに、御覧下さい。

節分祭

「しおがまさまの豆撒き」
節分祭。

新型コロナウイルス感染症が未だ終息の兆しが見えていない状況の中、例年のように大勢の参加者のもとでの豆撒きが行わないことと致しました。

就きましては、今回は皆様に代わり世話人が代表して祈願祭に参列し、神符・福柵・福豆等を受け皆様にお頒ちすることと致したく存じます。

厄年を迎えられた年男・年女は勿論の事、新たに成人を迎えられた方やご入学を迎えられる御家族、年齢に拘わらず、御自身の厄災消除、家内安全、商売繁盛、更には新型コロナウイルス感染症防止と一日も早い終息を願ひ、疫病や災難除けを御祈願致します。

会費は一万二千円(祈祷料、記念品、其の他一切の費用含む)です。
お申し込みは、以下の世話人へお願い致します。

節分祭年男年女世話人会
(市外局番〇二二)

・会長
佐藤 武志

・南町 榎菅原園茶舗
(三六二) 〇〇二八

・副会長
佐藤 一臣

・南町 漢方の塩竈芍薬堂
(三六二) 七八八〇

・郷家 照夫

・南町 郷家第三齒科医院
(三六二) 四五七一

・松本 喜八郎

・旭町 榎松本左官工業
(三六二) 三二七五

・佐藤 仁一郎

・南町 榎ごんぎや
(三六七) 七七七七

・菅原 周二

・桜ヶ丘 榎白寿殿
(三六六) 四一四一

・桜井ふみ子

・清水沢
〇九〇(五八四三) 二七二二

・鈴木 孝彦

・権現堂 (有丸仲佐藤商店
〇九〇(二〇六九) 二〇七〇

・大友 義雄

・桜ヶ丘 榎白寿殿
(三六六) 四一四一

・大場 喜藏

・南町 大場酒店
(三六七) 〇九〇六

・高瀬 聰

・尾島町 (有)たかせ美容室
(三六六) 六四二〇

・古内 隆弘

・港町 プリンス食品 榎
(三六五) 六一八一

・古川 浩司

・貞山通 榎カネヒロ
(三六六) 一一六一

・参籠室・貴賓館・齋館・齋館門
銅板葺替工事再開

天皇陛下御即位奉祝事業として実施してまいりました参籠室・貴賓館・齋館・齋館門・随員室屋根銅板葺替工事は、新型コロナウイルスの影響により、一時中断してまいりましたが、再開の運びとなりました。



工事中の貴賓館

嘉津良比祭

去る十二月一日、鹽竈神社左右宮において特殊神事「嘉津良比祭」が規模を縮小し斎行されました。

この神事は「勝来祭」「神迎祭」とも呼ばれ、かつて東北の地を開拓平定された鹽竈神社の三柱の御祭神をお迎えし、その凱旋を祝い御神徳を讃えたことに由来すると伝承されています。

御神前には雉・アワビ・黒ソイ・昆布・若布・吊し柿のほか、櫨の葉に紙垂を

菊花展

昭和二十五年以来開催しております「塩竈市菊祭り」が七十回目を迎え、去る十月三十日より十一月十日まで神社馬場にて開催されました。

丹精込めて育成された数々の出品作が秋の境内を彩り、参拝者の目を楽しませていました。

これらの作品は、各部門ごとに厳正な審査がなされ、優れた作品に賞が贈られます。

結わえた「ミカツライ」そして「兜餅」がお供えされます。

「兜餅」は一升の餅を七つ取りにし、これを兜のごとく重ねて頂部に蕪を乗せたもので、凱旋した武将らが餅を搗いて分かち合ったことに由来するとされています。



した。このうち競技花の部において遠藤堯一殿、七本立の部において星定信殿が神社賞に選ばれました。



講社だより

例年十月の体育の日を含めた三連休に斎行していただきます講社大祭は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、十月六日より十二日まで間、祈祷形式での斎行となりました。

期間中には世話人や講員各々が参拝し、家内安全を祈念していました。

左記に永年の継続講員の御芳名を御紹介致します。(敬称略)

令和二年度

継続講員表彰者

◇九十年表彰
鈴木 保男

◇八十年表彰
佐藤 源一・青山 督子

加藤 長正・菊池 一夫
佐藤 忠良・小幡 孝

有限会社 北浜フード
佐藤 甚吉

◇七十年表彰

鈴木 喜之助・伊藤 久一
佐藤 信夫・佐藤 英昭
千葉 敏朗・佐藤 秀隆

◇六十年表彰
千葉 昌一・身崎 礼子
伊藤 千鶴子・佐藤 秀
大槌支部(一名)
倉本 栄一

◇五十年表彰
佐藤 進也・柏木 キヌ子
大宮司 庄八・真野 雅晴
鈴木 みつ子・平田 大器
福田 順子・橘川 和雄

◇四十年表彰
千葉 和平・大久保 忠孝
菊池 富次雄・岩本 光弘
阿部 喜代子・村上 正男
大橋 毅・佐々木 三男
十文字 澄子
藤原 喬・ヒロ子
大友 敏夫・光子
塩釜報恩講(一名)
目黒 浩幸

◇三十年表彰
松田 喜美子・鮫名 ゆき子
芦立 東暁・伊豆 豊一
小野 政利・鹿野 晴夫
土井 勲・中村 起也
中村 正三・中村 裕子

◇二十年表彰
榊台ビジネスサポート
堀川商店
上野 浩二・美波・幸成・歩

阿部 義枝・柴田 利雄
安倍 民夫・遠藤 宗夫
及川 良子・大沼 進
大沼 千恵子・大場 秀彦
加藤 広志・菊地 裕子
進藤 京子・鈴木 昭司
高橋 仁・徳永 正己
中村 笑子・早坂 繁利
堀江 初音・横澤 茂夫
渡辺 東洋
岩出山講(二名)
千葉 藤男・千葉 岩子

◇十年表彰
鈴木 恵子・星 秀行
渡辺 正光・佐山 明子
高橋 キイ子・加茂 百合子
黒田 義春・千田 武広
野口 次郎・畑中 妙子
森 龍峰
長瀬 政雄・幸子・新吾
薫・潤一郎

遠藤工業(株) 八百大分店
大槌支部(五名)
倉本 栄志・橋本 博
三浦 夕子子・田中 セツ
松橋 英樹
岩出山講(二名)
中鉢 泰弘・阿部 幸輝
塩釜報恩講(一名)
荒木 志朗

博物館だより

令和三年辛丑歳新春特別展
「御神宝刀剣展」 開催

日本刀は、優れた機能性と高い美術性をあわせ持ち、現在は鋼の美術工芸品として世界的に評価されています。

先人たちは、反りを有する美しい姿や地・刃に表れた景色をこまやかに鑑賞して日本刀に親しむとともに、そこに神聖さをみとめて畏敬の念をいだいてきました。刀剣を御神体として祀った例や、神様への捧げものとして奉納した例が数多く知られています。

本展では、鹽竈神社に奉納された作品を通じ、美術品としての日本刀のみどころとその魅力、そして信仰とのかかわりについて御紹介いたします。

重要文化財の「朧国光」「雲生」や藩主奉納太刀など約三十点を展示いたします。

御参拝の折には、ぜひ御覧いただきますよう御案内申し上げます。

◇会期

令和三年一月一日(金) ~ 三十一日(日)

◇開館時間

午前八時半 ~ 午後四時まで (会期中は無休)

◇観覧料金

- ・一般(含大学生) 三〇〇円
- ・高校生以下無料
- ・団体二十名様以上二五〇円
- ・高校生以下無料



朧国光 拵

結婚おめでとう
ごさいます

昨年九月から十一月まで、当社において華燭の典を挙げられた方々を御紹介します。(敬称略)

九月

仙台市	今野	翔太
塩竈市	山内	香澄
富谷市	福島	直人
塩竈市	鈴木	麻貴
仙台市	築瀬	徳和
山形県	上村	彩
東京都	大軒	健彦
仙台市	村上	千里
東松島市	木村	優介
石巻市	日野	朱夏
十月		
仙台市	佐伯	和吉
福島県	三浦	雪恵
大崎市	高橋	廣行
多賀城市	佐々木みづか	

十一月

塩竈市	三升	直哉
山形県	軽部	由佳
福島県	芳賀	貴之
福島県	飯塚	さとみ
仙台市	佐々木慎太郎	
福島県	角田	未来
岩手県	神山	瑞人
富谷市	菅原	実子
仙台市	田中	恵太
宮城県	及川	優香
茨城県	青木	康博
山形県	秋保	杏奈
仙台市	小原	靖
仙台市	佐藤	彩
十一月		
福岡県	中満	隆博
富山県	島崎	薫
加美郡	渡邊	悠二
大崎市	市川	美夢
多賀城市	餅	祐介
仙台市	及川	弘美
大崎市	佐々木紘志郎	
仙台市	中里	典子

神前結婚式の御案内

当社では左記の内容にて神前結婚式を承っております。

初穂料

金 十万円 也

神 楽

「浦安の舞」奉奏

雅楽奏楽

神職の雅楽演奏

記念品

御札、御守、高砂絵馬、瀬戸盃、誓詞、当社オリジナル御朱印帳、社紋入りペアステンレスタンブラー

挙式ご希望の方は、祭務所にお申込み下さい。

多賀城市	中澤	匡俊
岩手県	青山	実里
山梨県	鈴木	洋文
黒川郡	鈴木	麻由香
石巻市	今野	洋介
群馬県	設楽	奈月

大漁満足 海上安祈願 安産祈願	三月	二月	一月	毎月	国家安泰 五穀豊穰 家内安全 祭事暦 <small>(一月から三月まで)</small>
	二十七日	二十三日	一日	一日	
	帆馬塚慰霊祭	節分祭	大旦祭	朔日祭	
	神馬塚慰霊祭	旧正月祭	元始祭	曲木神社月次祭	
	志波彦神社例祭	祈年祭	鏡人祭	御釜神社月次祭	
		長月祭	松明祭	鹽竈神社月次祭	
				志波彦神社月次祭	

昨年九月から十一月にかけて当社を正式参拝された方々を御紹介いたします。
(敬称略)

参拝記録

九月

二十三日 仙台市・宮城縣護國神社 田中於菟彦宮司
 奈良県・薬師寺 大谷徹英執事長

十月

二十一日 滋賀県・萱野神社氏子総代会 十九名
 二十九日 茨城県・日立市滑川学区コミュニティ推進会 遠藤会長以下十一名

十一月

六日 山形県・白子神社総代会 十一名
 十九日 福島県・白根三吉神社崇敬青年会 九名
 二十三日 東京都・下谷神社隆栄講 十五名
 二十六日 しおがま蔵出し新酒まつり 十五名

文芸欄

木枯や島の夕波尖り出す
 ままごとの母は決まらず小六月
 リハビりに励む日々なり花八手
 木枯や風来坊の無国籍
 印伝の財布は形見栗ごはん
 兄嫁は母お気に入り藪柑子
 コロナ禍の沈静祈願冬火花
 被災地のサイクルロード赤とんぼ
 七曲り坂の黄落嘶けり
 木枯の突っ込んで来る能楽堂

今田 須美子
 上田 由美子
 大友 セツノ
 大野 みよ子
 横田 みち子
 池田 智恵子
 菅原 和子
 佐藤 悦子
 今野 紀美子
 及川 源作

謹賀新年

令和三年 辛丑 元旦

志波彦神社
 鹽竈神社

宮司 鍵三夫
 権宮司 野口次郎
 禰宜 大瀧博司
 権禰宜 近藤優
 小野 道教
 永野 雄大
 鈴木 重和
 前川 成文
 菅原 慶太
 菊池 重忠
 小栗 雅仁
 藤澤 瑞朗
 柏木 岳史
 浅野 満昭
 三品 博隆
 菅原 治彦
 栗生 貴史
 菅野 祐太
 高橋 友紀
 菊地 明日香
 高橋 美侑
 佐藤 千颯
 櫻井 香菜子
 鹿沼 綾乃
 氏家 華
 小林 莉沙
 及川 華夢

巫女

郷家 もも
 千葉 琴羽
 板倉 美空
 石川 一牙
 藤井 弥栄
 高橋 賢
 阿部 裕一
 伊藤 道則
 伊藤 裕樹
 茂木 さやか
 笹木 徳行
 板宮 章子
 嘱託 伊勢

銅板奉納者芳名

九月 神奈川県 伊藤 晋
 ほか七十七名
 十月 山形県 荒井 孝
 ほか八十名
 十一月 千葉県 武者 律子
 ほか八十九名
 (敬称略)

赤芸

新型コロナウイルスが終息の兆しが見えない中、新年を迎えませんでした。今年には東日本大震災から十年です。穏やかな一年となりますように。(慶)